

戦争法案 力あわせ 廃案に

憲法

9条破壊 戦後最悪の法案



質問する志位和夫委員長
=5月26日、衆院本会議

米国の起こす戦争に、自衛隊がいつでも、どこでも参戦・支援するための戦争法案が衆議院で審議入りしました。安倍政権が銘打った「平和安全」の名とはまったく逆に、日本を「海外で戦争する国」

志位委員長追及「平和安全」とは正反対

にする戦争法案がその正体。二度と戦争しないと誓った憲法9条を根底から破壊する戦後最悪の法案です。

日本共産党の志位和夫委員長は衆院本会議、安保法制特別委で質問し、戦争法案の「3つの大問題」（戦地派兵、治安維持活動、集団的自衛権）を指摘。「憲法を幾重にも蹂躪する法案は徹底審議のうえ廃案にするしかない」と主張しました。（裏面につづく）

日本共産党

折り目

戦争の善悪の区別つかない首相に 戦争法案出す資格ない

「ポツダム宣言の（間違った戦争という）認識を認めないのか」。5月20日の党首討論で共産党の志位和夫委員長が、安倍首相にただしたのに対し、首相は戦争の善悪を口にしないばかりか、「ポツダム宣言」を「つまびらかに読んでおらず、承知していない」と答えました。

日本の戦争を「世界征服」のための戦争と明確に認定した同宣言は、戦後政治体制の原点です。この答弁はインターネット上でも大きな話題になり、「朝日」22日付「天声人語」も取



「ポツダム宣言」読んでない

り上げました。

米国の戦争に自衛隊が参加するのが「戦争法案」。日本の戦争の善悪の判断ができない首相に、米国の戦争の善悪の判断はできません。そんな首相に法案を出す資格はありません。

「天声人語」(5月22日)より

「ポツダム宣言は戦後の世界秩序の起点の一つだ。首相はそれも読まずに、『戦後体制からの脱却』を唱えてきたのかという批判が出たのは当然である。基本的な歴史の知識すら欠くのでは、と疑われても仕方がない」

戦争法案に反対します 日本共産党

内閣総理大臣
安倍晋三殿

【要望事項】一、「戦争法案」を廃案にすること

氏名	住所

取扱団体 ● 日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
【お願い】この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6975-9115にお送り下さい。

近畿民報

2015年6月 No.1 (第197号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06 (6975)9111 Fax.06 (6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。